

「輝く雪」のまち

ぬまた町

# みんなの議会

2013年8月  
第54号

7月7日(日)  
第40回  
沼田町民体育祭

でいっしょなら、  
できる。

## 主 内 容

- 第2回定例会「給与減額条例」ほか…………… P 2
- 過去の一般質問の追跡、傍聴者の声…………… P 3
- 町長、教育長への一般質問…………… P 4～7
- 議会の動き
  - 研修、小学生への「こども議会」授業…………… P 8
  - ほたる館、病院問題への議会の取り組み…………… P 9
- みんなの広場、叙勲、視察の受け入れ、あとながき… P 10

# 平成25年 第2回定例会 6月20日

六月二十日に第二回定例会が行われました。主な議案は次のとおりです。

## ◎町職員給与の減額条例

震災復興財源を確保するために国家公務員の給与が期間限定で七%カットされています。

総務省は地方にも同調する様に求め、下げなければ一定のペナルティを課されます。

町としては既に職員給与引き下げを行っていることから、異論もありましたが、五%カットすることとしました。

これに追従する形で町三役給与も引き下げました。尚、この措置は、二六年三月までの期間限定でおこなわれます。

## ◎議員報酬の減額条例

町職員給与の五%カットを受けて、議会議員も「痛みを共有したい」という思いから議員発議で同率の減額を行いました。

## ◎宿泊交流センター条例

町体育館に併設されていた宿泊棟の老朽が著しいため廃止し、旧道路事務所を改築し「宿泊交流センター」として新たに設置しました。愛称を公募の結果、「夢未来」とし、七月二六日から供用を開始しました。今後、小学生の合宿通学などに活用されます。

## ◎二四年度補正予算

※不用額の精査などを行い、財源確保の目途が立ったことから、減債基金一億八千万を取り崩さずに一般財源から町債を繰上償還することとしました。

## ◎二五年度補正予算

○国保会計が黒字となったので、千五百万円繰入金を減額。

## ○国の予算がついたので、

農産加工場の改築費に六億五千万円増額。尚、町の手出しは三千万円ほどです。

## ○役場庁舎・消防施設の耐

震工事に三千万円増額。

など総額約七億六千七百万円の大型補正となりました。

## ◎関連事業の決算報告

ほたる館と自動車学校の決算報告がありました。それぞれの経営母体が変わることから、整理のための支出もありました。今後の経営改善に期待しています。

## ◎請負契約の承認

沼田小学校グラウンド整備工事の指名競争入札があり、約九千万円で締結しました。今年中に工事を終え、来年度から子供たちの歓声が聞こえる予定です。

## 不用額

町の仕事は予算を決めて執行されますが、使われなかったお金を不用額といいます。節約や効率化によって余ったお金がほとんどですが、中には行政の怠慢で使われなかったケースもあります。議会では無駄なお金を使わないようにすると同時に、住民への行政サービスが行き届くようにチェックしています。

小学校新築の総仕上げ グラウンド造成が始まった

### 意見書の議決はありませんでした

## シリーズ追跡②

24年12月長原誠議員の一般質問

**問** 携帯電話の利用エリアの改善を

**答** 不便のない形に近づきたい



今まで漠然とした不感地区の範囲を把握していましたが、今回、具体的に通信が出来ない地区を大まかではあるが町職員による調査を実施しました。

これらの改善策を通信事業者と協議しましたが、「居住地以外のエリア拡大は考えておらず、今後はスマートデバイスの普及により現状のエリア内の通信強化を図って行く方向にある。」との話であります。

北海道通信局とも協議しましたが、「国道沿いなどでも居住地以外は整備が進んでいない。補助制度もあるが、あくまで通信事業者が整備するかの問題である。」との回答です。

こうしたことから、携帯電話の通信エリア拡大は難しい状況にあり、現在、衛星電話等の利用について検討しています。

(25年7月25日 総務課回答)

### 長原議員のコメント

職員の調査によると沼田の中山間、沢地帯の2地区（更新、真布）が不感エリアとのことです。

この地域の不便が解消されるよう更なる検討を望みます。

## シリーズ追跡③

24年3月・9月絵内勝巳議員の一般質問

**問** 鹿対策についてどう考えているか

**答** 今年対策委員会で総合的に検討したい

**問** 鹿対策に電牧柵の助成ができないか

**答** 対策委員会等と検討し対応したい



これまで鹿対策として、「くくり罠」による捕獲を実施してきたところではありますが、H24.10月に有害鳥獣対策委員会に於いて、「電気牧柵」設置に係る先進地視察を実施し、沼田町に於いても電気牧柵による鹿対策の検討を行い、H25年、2月末に全農家を対象に農作物被害防止に関する説明会を開催したところです。

この説明会後の農業者の導入要望に基づき、有害鳥獣対策委員会によりモデル地区を選定し、H25.3月に電気牧柵導入に係る交付金の要望を行い、H25.6月に実施計画書を提出し、交付金の認可がおり次第、モデル地区において、電気牧柵の工事を執り進める予定であります。

(25年7月23日 農業振興課回答)

### 絵内議員のコメント

H24年で北竜町の電気牧柵の工事が完了し、それに伴い、本年の沼田町の鹿の被害が多くなっています。

被害農家でなければ、この悔しさは解らないと思います。町民の皆様の理解をいただき、一日でも早い「電気牧柵」設置で鹿被害がなくなる事を望みます。

各議員の一般質問にどのように対処したかをシリーズで追跡します。

### 傍聴席の生の声

毎回、一般質問議員の人数が多いのは他の自治体と比べて群を抜いている事に敬意を表します。  
(80代・男性)

### 傍聴席の生の声

現実性に合った件が多くありました。民間に変わったほたる館が、どのような数字になっているかの質問があれば聞きたかった。  
(70代・男性)

**今回の定例議会の傍聴者は、7名でした。**

みなさまの傍聴を待っています。お気軽に、ご来場下さい。

## 町長への一般質問

**問** カナダ・ポートハーディ市との  
交流の予算付けが出来ないか

**答** 国際交流は今後も継続が基本



高田 勲  
議員

**問** 開基百年を迎えた平成六年に、ポートハーディ市と姉妹都市提携を結びました。来年は、開基百二十年にあたり、姉妹都市提携も二十周年を迎えることから、多数での訪問を希望しています。

平成二十六年は派遣の年ですが、両事業を行うためポートハーディ協会では体制づくりを進めています。予算措置を含めた、考えを伺いたい。



昨年のポートハーディへの訪問団



国際交流については今後も継続していく事が基本と思います。二十年もの交流ができたのは、それなりの思いと、成果があったと思います。町の経済がよっぽどな

国際交流については今後も継続していく事が基本と思います。二十年もの交流ができたのは、それなりの思いと、成果があったと思います。町の経済がよっぽどな

い限り、交流は続けるのが基本です。

来年については八月に来た中で話をします。

基本的には派遣しますし、来る方についても対応を考

えています。

今後については二十年を契機に派遣の在り方、時期等を含め、前向きに協議したいと思っています。



アベノミクスの中での成長戦略について具体策が出てこない

と何とも言えないが、期待する面もあり、今後出てくる方策を見つつ、的確に農業者、農協とも協議しながら沼田全体の農業が上向く展開をして行きたいと思

**問** 農業関係の国の成長戦略を本町において、どの様に描くか

**答** 沼田全体の農業が上向く展開をしていきたい



鵜野 範之  
議員

**問** 安倍総理が成長戦略の第二弾として、「農業・農村所得の倍増目標」を掲げました。

その中身は個人農家が誰でも簡単に取り組める内容ではなく、地域的な要素が大と考えます。

どの様に地域と農家に関連させ、それを還元できるかがポイントと考えます。

本町において所得倍増を農・商・工業が一体となる体制作りを描けないか。

### 国の成長戦略の内容

- 「6次化の市場規模」 1兆円から10兆円
- 「農林水産物・食品輸出額」 4,500億円から1兆円
- 「担い手の米生産コスト」 全国平均16,000円を4割削減
- 「担い手の農地利用率」 5割から8割 農地中間仮機構の集積
- 「農業・農村全体の所得」 3兆円から6兆円
- 「法人経営体数」 12,500法人から50,000法人
- 「40歳以下の農業従事者」 20万人から40万人



6次化に向けての展開は、輸出を含め大歓迎ですし、できればそういった動きを期待しています。今後、所得を上げる、農地を守る、農業の在り方も含めて、農協を交えて協議し、6次化に関しても取り組みやすい、システムの在り方も協議していければと思っています。

## 問 「沼田の医療を町民と守る条例」を制定してはいいかがか

答 条例はメッセージとしても意義がある



久保元宏 議員

問 町長から出された沼田町の病院の未来図は、入院ベッドが無い提案です。ざっくりと判断すれば、これからの沼田町民の死に場所が沼田町ではなくて深川の病院になるのかな、という印象です。しかし、沼田町民から病院が遠い存在になるのではなくて、提案では主体が今までの民間の厚

生病院から、町立になるので、むしろ今まで以上に病院が町民に近い存在になる環境づくりが必要です。

① 経営者の立場から病院の経常収支などの目標をどう設定するのか。

② その目標を町民が共有するために、医者たちと交流するサークルや、より病院を活用する会を作っ

てはいいかがか。

③ 以上を条例として裏付けて、町内外に情報発信をしてはいいかがか。

病院の充実した設備と、優秀で親切なスタッフは、沼田町の財産です♪



沼田厚生病院の、リハビリ室。

「町民全員の病院」という体制を是非作っていただきたいが、いいかがか。



津川均 議員

① 目標を設定する具体的な作業にはまだ着手していない。

② ご提案の町民参加型の「おらがまちの病院」には賛

## 問 町民の町政への関心が低いのでは 答 参加する機会を多く作つてゆく

成なので、検討する価値がある。

③ 以上の二点を考えるとメッセージとして条例化するのには特に意義があるの

で、是非とも前向きに検討したい。

これらは、病院が新築されてから作業に入るのでは意味が無いので、計画や建築の過程で検討したい。

を企画しても町民の関心が薄くは無意味だ。

さらに、懇談会に出席した町民は町の提案に賛成の意見が多かったが、出席せずに反対している声も多い。これらを町はどう拾い上げて参考にしてゆくの

か。町民の関心度をさらに引き上げるために、どうされるのか伺いたい。



私は町民の関心度はあると思う。それが数字に現れるかは別として、以前よりは懇談会

問 町主催の懇談会の出席者は少ないし、来ていても説明が十分に理解されているのか疑問だ。たとえば、つい先日、お年寄りが行方不明になったが、これも町の「はあとふる沼田事業」の見守りが機能していれば起こらなかつたはずだ。

このように、多くの事業

で手を挙げて話す方が増えたと思う。

また懇談会「医療の今後」は日と場所を変えて十一回行うので、日を追うごとに途中で軌道修正をしたり、アンケートを取り入れたりするなどの町民の関心を上げる工夫をしている。

しかし、まだ足りないと思います。私も思っているのですが、たとえば新しい病院の企画や運営にも、多くの住民が参加する機会をこれから多く作っていきたい。

このような手法を行うことによつて、町民も少しでも関心を持っていただければ、さらに自分の問題として町づくりに参加していただけたらと思う。

5月28日の出席者は、25人。



医療・福祉体制の今後を考える町民懇談会

## 問 沼田町民が利用し易い公共交通環境を

答 現在の路線を維持確保していきたい



上野 敏夫  
議員

**問** 沼田町の公共交通をみると、町内には、デマンドバス等町営のバスがあります。

町外に出るとき等は、路線バス、鉄道を利用しますが、札幌や旭川方面の利用には、必ず途中での乗換が伴います。

又、高速バスが高規格自動車道を走っていますが、沼田を經由することで乗換えのない利用が出来るようにならないか。

鉄道を利用する場合には、深川駅に着くと階段を上り降りしなければなりません。お年寄り、足の不自由な方にとっては、とても不便利な駅であります。

深川市、近隣の首長と協力して深川駅にエレベーターの設置の要請をして頂き

たい。

又、冬期間のバス、鉄道を利用する際に駐車場がなくとも不便と聞きます。公共交通を利用する町民に駐車場を確保して頂きたい。



JR北海道の説明によると留萌線の乗客率は道内で四番目に低く昭和六十二年に比べ、四十%減、民間バスで三十%利用が落ちています。こうした厳しい現状の中、高規格自動車道があと三年程で留萌の最終地点まで完成します。

現状の留萌線の維持確保に努力することが最重要課題です。このことから、高速バスの乗り入れは実現性は極めて低いと判断します。

深川駅のエレベーター設置については、設置基準の一日当り三千人に対し、現状二千四十六人で難しい状況にあります、状況を踏ま

え関係町村に打診し、要望等の活動について考えて行きたい。

冬期間の駐車場は駅周辺には確保は難しいので、観光情報プラザ、JA前駐車場等、体制を整え、利用出来るよう協議した

## 問 アベノミクスの町行政への影響は

答 冷静に見極めて町行政を行いたい



渡辺 敏昭  
議員

**問** デフレ脱却がアベノミクスの最大の目標だとすれば、「二本の矢」の

政策の重要な力ギとなるのが、TPPだと言われています。一部の産業を犠牲にして、アメリカと日本の大手企業の言いなりに交渉は成立させるのではないかと危惧されます。



深川駅にエレベーターが欲しい

アベノミクスでは、自国の食糧も賄えない中で、食品輸出で転機を見出そうとしています。国の自立は食料を海外に依存しない事が大事です町長の考えを聞きたい。

二つ目として、安倍政権では憲法改正を強く打ち出しています。

その為の、九六条の改正を打ち出しています。憲法というものは簡単に改正されるものではないと考えます。

三つ目として、国は地方交付税の配分を見直そうとしています。「頑張る自治体」に傾斜配分を考えていますが、復興予算、原簿対策と厳しい現状の中、本当に可能なのか、考えを伺いたい。



アベノミクスの報道がなされていますが、沼田の地方経済までその効果が来ているか、疑問視です。

沼田に何が必要か見極めて今後の町行政を行いたい。TPPの問題は、交渉経過が非公開であり、論議する事自体難しい状況です。

米等の聖域が守られるか、町村会、議員、国会議員を通じ日本や沼田町に不利益にならないよう努力したい。

憲法改正、九六条問題は、私も何の為に改正しようとするのか前段の議論がない、国民的議論が必要だと考えます。

交付税配分見直しは、具体的に示された際に、沼田町が「頑張る自治体」に成る様、独自の政策、提案をしていきたい。

## 問 このまちで看取られたい

答 尊厳ある最期の場所を用意したい



中村 保夫  
議員

問 沼田町の医療再構築

に関する懇談会が行われているが、町の提案に対して町民の反応はどうか。

「人口は減ったとしても高齢者が減ることはない」という沼田町の人口構造の中で一年間でお亡くなりになる方は何人くらいか。

直近三年間で沼田厚生病院に看取りをしてもらった人数はどのくらいか。

この町で縁を得て、この町で元気に、そして静かに終末を迎えたいと願う人たちでも、この町で死ぬことを許されないのか。ベッドが無くなることの意味を町民に理解してもらっているか。



今回の説明会の内容は、町からの

提案事項であり、町民の意見を聞いたうえで町の医療を構築していきます。

今までの懇談会での町民の反応ですが、総じてご理解が得られていると考えております。

直近三年間で町民の亡くなられた方は平均六十名程度です。

また、沼田厚生病院は一般病院ですので、「看取り」という概念をもっています。死亡診断書を出した数は平均三十一名で、このなかには町外の方も含まれています。

「看取り」については小規模多機能住宅事業所の設置や、旭寿園のショートステイの個室化などの施設整備と病院との連携の中で対処できるようにしていきたいと考えています。

町としては沼田で縁を得て、それで最期を迎えた方をどうやって尊厳をもって亡くならせていただくかとい

うのは、我々の大きな仕事の一つでないかなと思っています。



長生クラブへの懇談会



町民が参加したくなる運動会を

## 教育長への一般質問

問 体育祭へ参加したくなる体制づくりを

答 地域が絆を深めるために体育祭を利用してほしい



絵内 勝己  
議員

問 町民体育祭は、小さな子供から、高齢者までが全員参加できるお祭りとして、私は最高だと思っております。

しかし、農村部においてはチーム編成に非常に苦労しているのも現実です。

そこで、各チームに交付されている参加奨励金の一部を削り、競技の一位二位三位になった人にあげて、参加することに張り合いが出るようにしてはどうか。

### 教育長

町民体育祭は、今年で四十回目を迎えますが、この間の歴代関係者の皆さん、また町民の皆さんの大変なご理解とご協力に感謝を申し

上げます。

一昨年の検討委員会でも、選手確保に対して各チームの負担軽減や、どのチームでも優勝を狙えるような得点の配分などに視点を置いて改善を重ねてきたところでもあります。

体育祭の目的とするところは、「住民の皆さんの健康づくり」であり、「明るく豊かな地域づくり」というところにあり、現に毎年千人近くの方が会場に足を運んで頂いております。

「今日は一日運動会に行つて、皆さん楽しませよう。帰ったあとは慰労会でまた楽しい話をしましょう」というような働きかけをもっとチーム内でやっていたら、地域の絆をより深める為に町民体育祭を地域自体がもっと利用してほしいと願っております。



◎毎年恒例の3つの研修で、4人の講演を聞いてきました。

## 6月27日 北海道町村議会議員研修会

札幌コンベンションセンター

政治展望  
「政権の課題」  
リスト 伊藤 惇夫氏



片山 善博 1951年生まれ。  
元・鳥取県知事、慶大教授

【住民に開かれた議会】 役場の職員と意見交換するだけの議会はダメだ。何よりも、見ていてツマラナイ（笑）。議場で町民も発言する場を作るべき。  
【公聴会】 決める前に町民から意見を聴くのが公聴会だ。報告会ではダメ。  
【TPP】 反対だけではなく TPPを制限する条例を町議会が決めておくべき。

【安倍政権の懸念材料】 ①もしアベノミクスが失速したら。②TPPの聖域は、無理。③安定政権は、内部抗争が起こりやすい。  
【維新の会】 口先でのし上がったやつは、口先でコケる。参議院選挙は、7議席か？



伊藤 惇夫 1948年生まれ。  
元・民主党事務局長、評論家

◎誠実な片山氏、辛口な伊藤氏と個性あふれる分析に最後まで引き込まれました。

## 7月25日 空知議員研修会

浦臼町・役場 行政センター

【「道州制」の現状】 北海道は特区として成果もある。しかし11県の知事が反対するなど厳しい。  
【「道州制」の課題】 ①国、道、町の権限の分け方が整理されていない。②「国から地方へ移るのは権限だけではなく、国が抱えている膨大な借金も」、であったとしたら地方は納得しない。



佐藤 和哉 1956年、北見市生まれ。  
北海道総合政策部 地域主権 局長

## 7月29日 北空知議員研修会

深川市・日の出会館



【国の農業政策3大重点】 ①輸出、②加工販売、③農地の基盤整備。しかし、これらは北海道には違和感がある。それでも活用できる予算は積極的に活用しよう。  
【TPPは10月に決着】 ブルネイ会議で基本合意がされるのだから、そこに集中して議論すべき。北海道の要望を、国に伝えよう。

竹林 孝 1956年、北竜町生まれ。  
元・十勝総合振興局長、北海道農政部長

## 7月17日 「こども議会」に向けて、小学4年生への授業

小学4年生の  
今後の予定

9月

定例議会を傍聴♪

11月 (予定)

「こども議会」  
議員席に座って、  
町長へ一般質問♪

みんなで、  
傍聴に行こう♪



昨年十二月の定例議会での中村保夫議員の一般質問「小学校議会を開催してはどうか」が、実現に向かっていきます。教育委員会は提案を受け、単なる一回きりのパフォーマンスで終わらないように、前段に「議員から議会についての説明」と「議会へ出向いての傍聴」も加えました。まず、説明する授業を行いました。小学4年生が知っている言葉だけで「条例」や「傍聴」などを説明するのは難しいのですが、今の沼田小学校の4年生は、とても積極的かつ好奇心にあふれていて、とても有意義な授業ができました。十一月に予定している「こども議会」がとも楽しんでいってほしいです。

# まちづくり調査特別委員会

全議員が参加して1年半以上に渡って、沼田町の未来を総合的に調査し、議論をしています。その結論をまとめた『意見書』を9月の定例議会に出すにあたり、議論の一部を紹介します。

## ほたる館

4月から民間のシダックスが指定管理者となった。その決定までには議会でも活発な議論が繰り広げられた。



### 神副町長

「今後の管理をするのは民間だから」と職員に説明しているが、管理者にお願いすることはする。

「今後の管理をするのは民間だから」と職員に説明しているが、管理者にお願いすることはする。

指定管理料は、いくら払うのか。指定管理料は三千万円まで払うことができる条件を付けた。ちなみに、昨年の赤字は四千万円。五年ごとに契約を更新する。

### 神副町長

管理料は、いくら払うのか。指定管理料は三千万円まで払うことができる条件を付けた。ちなみに、昨年の赤字は四千万円。五年ごとに契約を更新する。

指定管理者を募集したところ、四社から問い合わせがあり、実際に申し込んで来たのはシダックスのみ。

### 神副町長

指定管理者を募集したところ、四社から問い合わせがあり、実際に申し込んで来たのはシダックスのみ。



ほたる館は、町民の大切な財産だ。

### 神副町長

指定管理者の選定委員は誰か。委員長は私。委員は、郷古・社会福祉協議会会長、吉住・商工会会長、村椿・信金支店長、生沼・教育長、横山・政策推進室長。

### 神副町長

指定管理は運営部分。施設の維持は町。今後は指定管理者から設備投資の提案があるかもしれない。

指定管理は運営部分。施設の維持は町。今後は指定管理者から設備投資の提案があるかもしれない。

指定管理は運営部分。施設の維持は町。今後は指定管理者から設備投資の提案があるかもしれない。

## 病院

町が主催した『医療・福祉の懇談会』が7月までに11会場で行われた。それを受け、さらに議会でも議論が継続中。

ベッドを無くすための対策として「小規模・多機能・居宅介護事業所」を新設する計画だが、そこをきめ細やかに体制作りするのが重要だ。

たとえば昨年度の秩父別町の診療所の赤字は一千万円で、妹背牛町は二千八百万円だ。ベッドを無くすだけで赤字の軽減ができる。

懇談会で「沼田厚生病院はこのままでは今後、毎年ごとに二億円の赤字が出るが、入院できない診療所にすれば赤字は四千二百万円に抑えられる」と説明していたが、信ぴょう性はあるのか。

## 指定管理者 (してい・かんりしや)

町などが、公の施設の管理を行わせるために、期間を定めて指定する株式会社などの団体。この制度により、サービスの向上や経費の削減などの利益が期待される。しかし、この制度は委託や譲渡ではない。だから、本来の所有者であり利用者である町民のチェック制度をきちんと機能させる必要がある。



議会と町長との意見交換。

これから施設の「終末医療」は良いが、「終末医療」はさらに対策を考えるべきだ。これから施設の「終末医療」は良いが、「終末医療」はさらに対策を考えるべきだ。

「終末医療」は良いが、「終末医療」はさらに対策を考えるべきだ。これから施設の「終末医療」は良いが、「終末医療」はさらに対策を考えるべきだ。

今後、要介護は増えるが、どの程度の介護が増えるのか分らない。増えてゆく介護に合わせた対応と、色々なパターンに対応できる体制を作る。

# 久保寛・元議員、叙勲

元町議の久保寛（七十九歳）さんが五月十四日、旭日双光章を叙勲されました。おめでとうございます。

寛「かつて戦時中に軍国少年だった私が、まさか天皇に拝謁する立場になるとは思わなかったです。」

議員を八期三十二年務めるのは大変でしたね。

寛「議員を務めるとは、単なる就職とは違うからねえ。多くの人の声に耳を傾け、



JA北いぶき代表理事専務 黒田 洋一

## みんなの広場 地域に根ざした 農協運営

今年度4月26日の北いぶき農協通常総代会、およびその後の臨時理事会において代表理事専務の重責を担うこととなりました。常に農家の気持ちを忘れず、少しずつではありますが、着実に歩みを進めていきたいと考えています。

先日、訪問した関東、関西の米卸業者の「北海道米」に対する評価は、3、4年前とは格段に高くなっており、品質面において他府県米と逆転した感を強く感じたところです。

この評価に甘んじることなく、さらに高い目標を持ち続けることができる組織づくりを継続していきます。

さらにAコープ店舗を含めた沼田支所庁舎の建て替えの構想がありますが、生産者のみならず地域全体のご意見を聞きながら、町全体が生き生きとするような「地域に根ざした農協」を目標に、努力をさせていただく所存です。



議会を語る坂本弘行さん(左)と久保寛さん

それを具体化した結果だから、その声を発してくれた町民に感謝します。」

多くの方が、お祝いをしてくれましたね。

寛「恐縮です。お世話になった方々には久しぶりに祝賀会で会えて、楽しかった。これからも、みんなと一緒に酒を呑んだり、カラオケをしたいね。」

これからも、元気で活躍願います。

寛「有難うございます。これからは、夜遊びを少し減らします(笑)。」

## 釧路町議会が来町 広報委員会

釧路町広報編集特別委員会

が七月二日来町し沼田町議会広報「みんなの議会」の研修をされました。

読んでもらえる広報誌を目指し、私達も努力していきたいです。



広報誌、作成の説明をする

## あとがき

今年も、猛暑が続く豊作基調で推移しています。

最近、農業機械にGPSを搭載し通信端末から位置情報や稼働機情報を遠隔管理センターに送り、稼働状況やコンディションを把握する。さらに、パソコンなどからも毎日の農作業を入力し、栽培実績データの記録、圃場ごとの生産性分析、次年度の栽培計画などが行える。

これは農業生産性、経営の見える化である。具体的には燃料、肥料、収穫量などのデータを連携し、生産のパラツキやコストの無駄を低減させ、さらに品質、収量に対する的確な情報や、営農指導につなげようとしている。

さて、これを便利と考えるか。長年の経験と知恵というデータベースには「勘」という思考回路も有る。不確定ではあるが、大切な判断でもあると思う。

### 広報特別委員

中村保夫 長原 誠  
鶴野範之 久保元宏